



～連載 第3回～

検証

革新都政  
その後

鈴木都政16年①

マイタウン東京構想

財界と支配層の用意周到な作戦が効を奏して誕生した鈴木自公都政。選挙戦では「破産寸前の都政を再建し、マイタウンと呼べる東京をつくってほしい」という公約をかけた。「財政再建」と「マイタウン構想」を前面におしだした都政運営をすすめました。

そしてその「マイタウン東京」について「安心して住めるまち」、「いきいきと暮らせるまち」、「故郷と呼べるまち」とであると

私に期待された点は、東京オリンピックや大阪万博の当時のいろいろな事業をやった経験を生かして、都でも事業を大いにやれるようにしてくれという要請が基本にあると思う。

日本経済新聞  
1979・04・10

革新都政から鈴木都政に変わってからわずか三年ほどしかたつていませんが、その間の都政の変わりようのほげさは都民のみならず、山本正雄日本福祉大学教授・(革新都政)新財源構想研究会座長

鈴木都政誕生の半年後には財界主導、補佐役が国と

量的改革から質の行政改革、ボトムアップ、機動的・柔軟、ICTの活用をあげ、3つの改革を掲げています。これは経済財政諮問会議で、財界のトップを含め四人の有識者が安倍政権の政策を先取りをしたレポートを出すのと同じ扱いになっています。

「3つの改革」とそのねらい

3つの改革とは「しごと改革」「見える化改革」「しくみ改革」で関係性は図の通りです。

「しごと改革」は、職員内閣の「骨太の方針」でもすでに出されていて、業務の内容を数値化し、比較可能な状態にして、民間や他の自治体と比較して公務を絞り込む事がねらいとなっています。

具体的なねらいは、監理

2020改革プランで  
何をねらう小池都政

小池知事が本部長の「都政改革本部」は、2016年9月に発足し、現在「2020改革プラン」の素案を公表、3月に発表する予定です。「2020改革プラン」はマスコミでもあまり

2020改革プランのねらい ポイント

● 小池都政の「実行プラン」と対をなす都政の「行政改革」推進プラン

● アベノミクスの「成長戦略」と一体となった「新自由主義改革」の深化

● 都政の全事業を対象に、公共サービスの市場化(産業化)・廃止で都政の変質と再編へ

都政改革本部を牛耳る「影の知事」・「特別な」「特別顧問」上山信一氏

「都政改革本部」では小

私に期待された点は、東京オリンピックや大阪万博の当時のいろいろな事業をやった経験を生かして、都でも事業を大いにやれるようにしてくれという要請が基本にあると思う。

日本経済新聞  
1979・04・10

革新都政から鈴木都政に変わってからわずか三年ほどしかたつていませんが、その間の都政の変わりようのほげさは都民のみならず、山本正雄日本福祉大学教授・(革新都政)新財源構想研究会座長

鈴木都政誕生の半年後には財界主導、補佐役が国と

量的改革から質の行政改革、ボトムアップ、機動的・柔軟、ICTの活用をあげ、3つの改革を掲げています。これは経済財政諮問会議で、財界のトップを含め四人の有識者が安倍政権の政策を先取りをしたレポートを出すのと同じ扱いになっています。

「3つの改革」とそのねらい

3つの改革とは「しごと改革」「見える化改革」「しくみ改革」で関係性は図の通りです。

「しごと改革」は、職員内閣の「骨太の方針」でもすでに出されていて、業務の内容を数値化し、比較可能な状態にして、民間や他の自治体と比較して公務を絞り込む事がねらいとなっています。

具体的なねらいは、監理

**近刊！  
革新都政50周年記念出版**

都民要求実現、憲法を生かした都政、先駆的な施策を実施した革新都政の値打ちを今に生かす  
革新都政50周年を記念し、「都民がつくる革新都政」に掲載した「考証 革新都政12年」(連載36回、執筆：卯月はじめ氏)を書籍として発刊します。

革新都政を経験した世代も知らない世代も！  
出版社：本の泉社

